

入野小学校 校長室だより

2016. 4. 28(木) No. 4 文責：芝

「覚えた」でなく「思い出」

先日、職員室に塩ビの水道管らしきものが置いてありました。短く切りそろえられ、何本もありますので、何に使うのだろうと不思議に思っていました。後で、このパイプで 1 m^3 を作ること、5年生の算数の勉強で使うことが分かりました。『これは、子どもたちにインパクトのある学習になるだろうな』と私も楽しみに思ったことでした。その授業は見ることができず残念でしたが、授業の感想をいただきましたので、一部ご紹介します。

○私は、 1 m^3 の立方体が思ったよりもでっかかったので、びっくりしました。あと、 1 m^3 の立方体の中に、 1 cm^3 の立方体が百万個入ると知ってびっくりしました。

○今日勉強して分かったことは、 1 m^3 に 1 cm^3 が1000000個入ったのでおどろきました。 1 m^3 をじっさいに見たのははじめてで、思い出すと、大きかったなと思いました。

○私は $1\text{ m}=100\text{ cm}$ なので、 $1\text{ m}^3=1000000\text{ cm}^3$ ということがわかりました。なので、 $1\text{ km}=1000\text{ m}$ だから、(1 km^3)は 1000000000 m^3 なのかな?と思いました。

多くの子どもたちが「 1 m^3 は思っていたより大きかった」「 1 m^3 の中に 1 cm^3 が百万個入るのに驚いた」という感想をもっていました。それらの感想からは子どもたちが心を大きく動かしたことが分かります。ですから、「覚えた」と言うよりも「思い出」と言っているような記憶になったことだろうと思います。

今日は4年生の算数で「角度」の授業を見ましたが、子どもたちが具体的に角度を変化させる教具(下の写真)を使って勉強していました。

小学校で勉強する算数も、学年が進むにつれて抽象的な世界になっていきます。できるだけ実物を見せたり、具体的に示したりしながら進めたいと、私たち教員はみんな思っています。なかなか願いの通りにいくことばかりでないのが悩みです。



平和な未来を願って

今朝のなかよし朝会は、折り鶴朝会としてみんなでツルを折りました。6年生が修学旅行で広島平和記念資料館(原爆資料館)に行った時に供えるためです。折り紙に馴染みの少ない子どもには少し難しかったようですが、6年生の指導で心を込めて取り組みました。

未来が平和な世の中でありませうように。

